

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	補助金事業の名称	補助金事業者名又は間接補助金事業者名	補助金事業に要した経費	補助金充当額	備考
1	公共用施設整備措置	朝日中学校職員室増築事業	朝日町	29,743,200	5,246,000	
2	地域活性化措置	朝日町歴史博物館企画展事業	朝日町	1,927,290	1,259,000	

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名		
1	公共用施設整備措置	朝日中学校職員室増築事業		
補助金事業者名又は間接補助金事業者名		三重県三重郡朝日町		
補助金事業実施場所	三重県三重郡朝日町大字柿2838番地			
補助金事業の概要	教職員増に対応した職員室増築工事（現職員室面積 136.0㎡ 増築面積 78.89㎡ 計 214.89㎡）			
総事業費	29,743,200	補助金充当額	5,246,000	
		うち文部科学省分	—	
		うち経済産業省分	5,246,000	
補助金事業の成果及び評価	今回の生徒増に対応する職員室の増築工事より、教職員だけでなく生徒にとっても教育環境基盤の向上が図られ、また、地域住民にとって中学校は避難所であり、職員室は避難所の管理スペースとしての機能を有することから避難所施設としての向上も図られた。			
補助金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	請負契約	指名競争入札	㈱大橋組 三重営業所	29,743,200
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
無				
補助金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助金事業の成果及び評価の欄には、当該事業の説明及び補助申請時における目標（進捗度、利用量並びに効果）に対する結果を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合には、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名	
2	地域活性化措置	朝日町歴史博物館企画展事業	
補助金事業者名又は間接補助金事業者名		朝日町	
補助金事業実施場所	三重県三重郡朝日町柿2278		
補助金事業の概要	地域に残る文化財（日本画）の展示		
総事業費	1,927,290	補助金充当額	1,259,000
		うち文部科学省分	—
		うち経済産業省分	1,259,000
補助金事業の成果及び評価	<p>企画展の開催により地域に残る文化財（日本画）の魅力地域住民の方々に向けて情報発信をすることが出来た。期間中1,064名の入館者があり、秋季企画展の来館者より30%の増加となった。来館者アンケートには「朝日町出身の二人の画家のすばらしい展示だと思います」といった意見が寄せられており、郷土の画家の作品を周知する目的は達成できた。また展示解説や子ども向けワークシートの作成、ウォーキングや子ども学校といった関連事業を実施し、イベント参加者が作品の所感を述べ合うなど交流が生まれた。</p> <p>また企画展開催中から三重県立博物館・個人の協力により栗田真秀作品の新資料15点を調査することができ、その内4点は当館への寄贈、4点は寄託されることとなった。本企画展の開催が地域文化財の保護に繋がった点も評価できる。</p>		
補助金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
印刷業務請負（企画展刊行物の印刷）	随意契約	（有）水谷印刷	475,200
業務委託（企画展 展示設営等）	指名競争入札	（株）愛知模型コンサルタント	1,274,400
		人件費 他	177,690
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
無			
補助金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		無	

- （備考）
- （1） 事業ごとに作成すること。
 - （2） 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - （3） 補助金事業の成果及び評価の欄には、当該事業の説明及び補助申請時における目標（進捗度、利用量並びに効果）に対する結果を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - （4） 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - （5） 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - （6） 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。